夏の交通事故防止運動

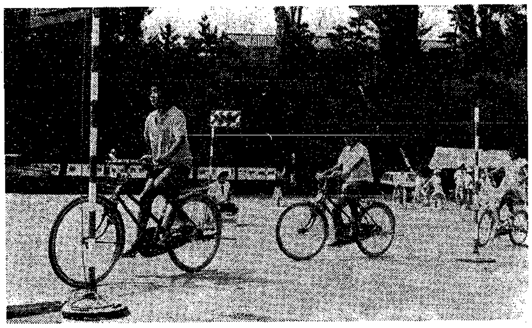
死傷者百三人下回る

二輪車、子どもの自転車事故は増加

夏の交通事故防止運動の期間中（七月二十一日～八月二十日）に発生した交通事故（下表）が昨年の同期間中を死者で三人、負傷者で百人、件数で六十九件下回りました。これは、私たち市民の、交通安全思想がより高まってきたことによるものといえます。

しかし、減少の傾向は夏の交通事故防止運動の期間中だけにみられ、ことし八月までの交通事故は死者、負傷者、件数とも、それぞれ昨年を上回っています。

なかでも子どもの自転車事故、高校生など若い人たちの二輪車事故が目立っています。登・下校などで自転車、二輪車に乗るときは交通マナーを守り、事故防止につとめてください。



熱心に自転車の乗り方を憶える―内野小の交通教室

子どもの自転車事故

事故のほとんどが徐行違反、右側通行、わきみ運転―交通マナーを欠いた乗り方から発生しています。

四十四年に比らべ、昨年は二倍に増加。小学生だけの事故をみた場合、三倍近くにもなっています。ことしも同様な傾向を示していますので、次の注意を守ってください。

❶いつも左側を一列に安全なスピードで走る。❷狭い道路から広い道路に出るときは、一時停止をし、安全を確認する。❸バス通りや交通量の多い道路では、なるべく乗らない。❹手放し運転、二人乗りは絶対にしない。❺自動車につかまったり、下駄やスリッパでは乗らない。

市では、子どもの自転車事故防止をねらいに、"一日交通教室"を各地域で開いています。これまで、鏡淵、内野、沼垂などで実施しました。

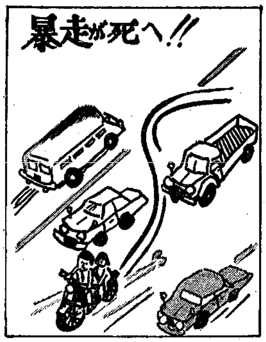
これからも各町内会、自治会を対象に開きますので、希望町内会は市交通課（☎28―1000番、内線四四六番）にご連絡ください。

交通事故発生状況
（7月21日～8月20日・31日間）

種別＼区分	本年分	前年分	増減数	増減率
件数	292	361	−69	−19.1%
死者	5	8	−3	−37.5
傷者	378	478	−100	−20.9

目立つ暴走運転

二輪車の事故ふえる一方



一方、二輪車の場合、高校生など若い人たちの交通事故が増加しており、そのほとんどがスピードの出し過ぎ、わきみ運転、無理な追い越しなど粗暴な運転から発生しています。

交通事故の全負傷者のうち、十五％が二輪車事故によるものです。最近では、保古野木地内で若い二人が即死するという悲惨な事故が発生しました。この事故もスピードの出し過ぎから、前の車に激突したものです。

二輪車は、ちょっとした運転ミスが、すぐ負傷事故、死亡事故に連がります。運転される方は、次の点に注意してください。

❶スピード違反をやらない。いつも安全速度を守る。❷必ずヘルメットを着用する。❸二人乗りや二列走行は、なるべくさける。❹無免許運転は絶対にやらない。

19日に胎内川へ

働く青年のバスハイク

秋！ハイキングシーズンです。日ごろ勤労に励む青年たちから、秋の一日を野外で過ごし、心身ともに健全な人間を形成してもらうと同時に、青年相互の親ぼくを深めていただくため、市・青年サークル連絡協議会主催で新潟市勤労青年の集いを開きます。定員百人で申し込み順に受け付けます。早めに申し込みください。

▣期日　九月十九日（日）八時から五時まで、雨天決行

▣対象者　市内居住の勤労青年

▣コース　北蒲原郡黒川村胎内川流域

▣内容　ハイキング・歌・植物採集

▣定員　百五十人（申し込み順）

▣申し込み・照会先　申し込みは参加費四百五十円を添えて十四日までに直接、市社会教育課内青年サークル連絡協議会（☎二八―一〇〇〇番、内線四五〇番）へどうぞ。

音楽教室＋美術教室

各コースとも50人

申し込みは11日までに

市では、十月から"音楽・美術教室"を開きます。同教室は芸術ファンの層をひろげるため、初心者を対象に開くものです。この機会にどしどし参加してください。

■会場　中央公民館（西堀通六）、山の下分館（古川町）、両川連絡所（酒屋）

■対象　高校生、大学生を除く一般市民の方に限ります。

■定員　各コースとも五〇人（ただし、山の下分館は三〇人）

申し込みが定員を越えた場合は抽選で決定し、後日本人あてに通知します。

■受講料　無料

■テキスト代　楽器、画材などは本人負担。

■締め切り期限　九月十一日の消し印まで有効です。

■申し込み方法　住所、氏名、年齢、職業、連絡先電話番号、性別、会場名、希望科目を明記し返信用の封筒（あて先明記、十五円切手を添付）を同封して、希望会場の音楽・美術教育係へ直接申し込んでください。二科目以上を希望される方は、科目ごとに申し込んでください。

■問い合わせ　市中央公民館音楽美術教室係（☎28―1000番内線二六六番）

音楽教室

中央地区会場（中央公民館）

科目		曜日	開始日	終了日	講師
バイオリン		毎火曜 午後6時～8時	10/5	12/14	渡辺和磨
民謡	三味線	毎火曜 午後6時～8時	10/5	12/14	岩崎文二
	唄	毎木曜 午後6時～8時	10/7	12/9	岩崎文二
フルート		毎木曜 午後6時～8時	10/7	12/9	須貝和気三

美術教室

山の下会場（山の下分館）

科目	曜日	開始日	終了日	講師
油絵	毎火曜 午後7時～9時	10/5	12/14	小林和夫

両川会場（両川連絡所）

科目	曜日	開始日	終了日	講師
版画	第2・4土曜 午後1時半～3時半	10/9	2/26	野崎亀六

中央地区会場（中央公民館）

科目	曜日	開始日	終了日	講師
版画	毎火曜 午後6時～8時	10/5	12/14	佐合敦
楽焼	毎木曜 午後6時～8時	10/7	12/9	土屋仁夫
日本画	毎木曜 午後1時半～3時半	10/7	12/9	長井亮之

市政雑感

ささやかなこと

新潟市長　渡辺浩太郎

○…新潟港の荷扱い量が年々増加をみて、四十二年に、日本海側唯一の特定重要港湾に指定された。その後も材木、石油を中心に荷扱い量が急増していることは嬉しいことである。

○…当然に材木の入荷がふえたことで、製材関係企業が多く進出してくる。その企業のうち十四社が、市の指導で製材工業組合を組織し、寺山に団地をつくった。今後の中小企業の方向を適確にとらえた進歩的なことといえる。

○…だが物ごとは良いことづくめではない。その一つの例が企業から出るごみ処理の問題である。ところがこの人たちが、さらに進歩的な事業をなしとげた。この七月完成した木材廃棄物を処理する共同焼却炉の建設がそれだ。

○…材木の皮やひきヌカなどは、かつては家庭燃料として重要な役割りを果たしていた。それが、電気、ガス、石油などの普及で、やっかい物あつかいされるにいたった。

○…製材団地から排出される製材廃棄物は、一日五十トン。市全体の一日のごみの量は四百五十トン。だから、その九分の一の量である。これを個々に焼却しては公害問題にもなりかねない。そこで団地では、この一・二年来、公害防止のうえからいい手はないものかと検討していた。

○…私も関係者といろいろ話しをした結果、焼却炉を建設するには一千八百万円もかかる事業なので、中小企業だけではなかなかうまくいかない。ということから、市でも三分の一を助成することにした。

○…焼却炉の能力は一時間五トンというから、一日の排出量五十トンを消化するには十分だ。しかも、ススやごみもシャワーで冷却して、浄化槽へ送るので完全処理が出来る。

○…公害問題は、一きょに片づけるわけにはいかないが、企業と市と市民が本気になって、一つ一つ取り組んでいかなければならない。その意味でも、今回の事業は大きな成功例といえよう。

○…「働き易い、活気ある、住みよい町」――これは、みんなの願いであり、市政をあずかる私の願いでもある。製材団地の焼却炉完成が、市民からも企業からも喜ばれていることは、私にとっても大きな喜びだ。

タンパク質のもと必須アミノ酸
Lーリジン入り食パン
キング★スター
厚生省許可 特殊栄養食品
KING・STAR
hanshin
三信食品工業株式会社
新潟市寺尾 TEL（0252）69－2035・3762

火災共済・交通災害共済
明るい生活は
市民相互扶助の共済で
新潟市火災共済
新潟市寄居町（富士マンション一階）
電話 (23)2347 (29)2960番

関屋
森田整形外科医院
森田利哉
バス／昭和町下車
関屋昭和町3　TEL66―2647・4413

西堀内科
斉藤洋
診療時間　AM 9：00～PM 6：00
新潟市西堀前通8（大坂屋ビル3F）
TEL　28―7333　自宅66―1041

利殖の三段飛び―ホップ・ステップ・ジャンプ
〈白鳥ジャンプ定期預金〉
お取り扱い中
1年半――年利 6.1%
いつも気軽な私たちの銀行
新潟縣信用組合

県下第一の設備と陣容
●普通第1種●普通第2種
●大型第1種●大型特殊
●身体障害者専門教習科
指導懇切
新潟県中央自動車学校
市内・郊外
スクールバス運行
入学案内書送呈
新潟市鐙470　TEL 47―5201